



わかくさ

vol.
128



【訪問看護ステーション 訪問看護の様子】

※本誌に掲載されている写真について、感染対策には十分配慮し撮影しております。

TOPICS

- 若弘会の訪問看護ステーション 居宅介護支援事業所に電子システム導入！ ●
- 不整脈治療カテーテルアブレーションについて ●



社会医療法人 若弘会

Wakakoukai Health Care Corporation



若弘会の訪問看護ステーション 居宅介護支援事業所に 電子システム導入！



KANAMIC NETWORK

若弘会訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所に『カナミックネットワークシステム』を導入致しました。これまで以上に利用者さんのご希望に寄り添い、よりよいサービスを提供できることを目指します。



システム導入研修の様子



システムの操作にはパソコンだけではなくスマートフォンやタブレットも利用でき、効率的なサービスの提供と円滑なコミュニケーションが可能となりました。

✿ 安心な看護介護サービスの提供



訪問時、携帯端末を用いて、その場で検温や血圧・医療処置などの結果を入力し看護記録を作成することで、リアルタイムに看護師間で情報を共有できます。

介護サービスにおいても利用者さんの要望を反映したケアプランがその場で確認できるようになりました。

✿ 安心なリアルタイムサービス

携帯端末の導入により、訪問先で医師からの指示も受けやすくなります。

また、緊急で看護師が駆け付けた時、携帯端末で過去の訪問記録等を確認できるため、利用者さんの求める医療サービスをより提供しやすくなります。



✿ チーム連携で利用者さんを支え『安心』を届ける



若弘会の在宅医療では、利用者さんを多職種で支えています。

システム内の利用者さん情報や看護記録がその場で閲覧できるため、会議で最新情報の共有や、支援の検討を、円滑に進めることができるようになりました。

これからも訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所は、利用者さんの健康と安心を第一に考え、より良いサービスの提供に努めて参ります。
システム導入による新たな一歩を共に歩んで頂ければ幸いです。
ご不明点やご質問がございましたらお気軽にお問い合わせください。

在宅医療 副医療長 米増 雪子 TEL 06-6632-0358



不整脈治療 カテーテルアブレーション について

若草第一病院 循環器内科

アブレーション治療とは

Check!!

心臓のリズムに異常が起こり、脈拍数が多くなる頻脈性不整脈という病気に行われる治療法です。足の付け根にある太い血管からカテーテルという細い管を入れて、心臓の不整脈を起こしている根源やその周辺に電気で熱を発生させ治療を行います。

不整脈とは

Check!!

通常心臓は1分間に60～100回の規則的なリズムで拍動を繰り返します。このリズムが何らかの原因で早くなったり、遅くなったりするのが不整脈と呼ばれています。症状としては、動悸、息切れ、胸の不快感、めまい、失神などが現れます。また放っておくと脳梗塞など重篤な病気を引き起こす可能性があります。

術前検査

Check!!

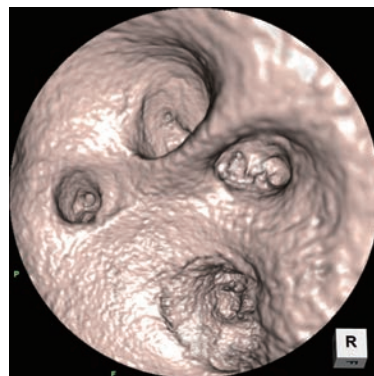
より安全で効果の高い治療を受けていただくために下記の検査を行います。

POINT

01

心臓CT

カテーテルアブレーションを行う際、左心房および肺動脈の相互の位置関係や形状が極めて重要になります。術前に心臓CTを撮影し得られた情報をもとに画像処理し図のような三次元画像を作成し立体像を把握します。



POINT

02

経食道心エコー

胃カメラと同じような管を飲み込んでいただき、心臓の真後ろに位置する食道から心臓の内部を超音波で観察します。左心房内の血栓の有無を確認します。



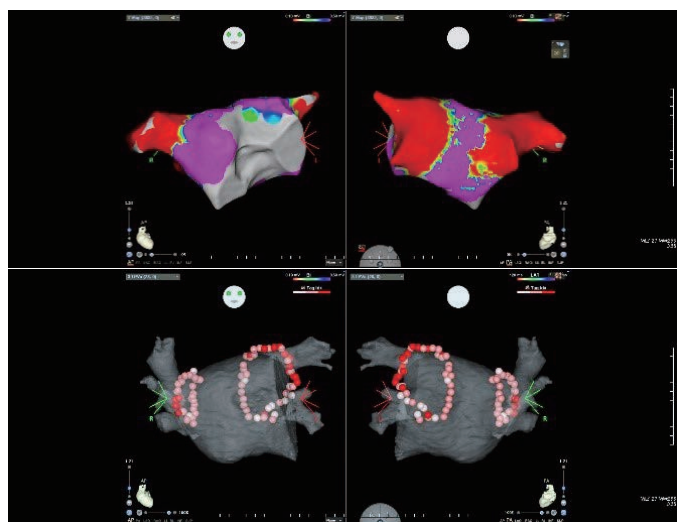


カテーテルアブレーションの様子

医師をはじめ臨床工学技士や診療放射線技師、看護師と共に専門性を活かしながら協力しチーム一丸となって最適な治療を提供します。



アブレーション治療中3Dマッピング



心臓の立体的な画像と心臓内の電気的狀態を正確に重ね合わせて表示します。それにより、治療する位置をより正確に特定することができます。



再発率を抑え、根治を目指せるカテーテル治療によって、一人でも多くの方が健康的な毎日を送ってもらえるように、少しでも不安なことがあれば、循環器内科にご相談ください。





リハビリテーション機器紹介

リハビリテーション部長 理学療法士 松浦 道子

当院では、先進的な技術を用いたリハビリテーション機器を、積極的に活用しています。
患者さんのそれぞれの状態に応じて、**身体（手、歩行）、認知、ことば、嚥下などの心身機能の向上や、
家での生活や運転、社会復帰に向けたプログラムを組み合わせ、
質の高いリハビリテーションに取り組んでいます。**
本稿では、9つのリハビリテーション機器をご紹介します。



歩行

「ウェルウォーク」



ロボット

脳卒中などによる片側下肢麻痺へのリハビリテーションを支援する歩行補助ロボットです。麻痺側にロボット脚を着用することで、膝折れの予防や足の振出しの補助ができ、本来の歩行に近い歩き方での歩行練習を行います。

手指

「メルツ」



ロボット

手指の運動麻痺に対するリハビリテーション用医療機器です。筋の複雑な動きを高速・高感度に測定し、AI解析技術により意図する運動をロボットアームがリアルタイムでアシストしてくれることで、手指の麻痺の回復を図ります。

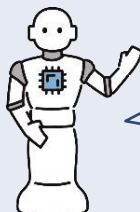
上肢

「レオゴーJ」



ロボット

脳卒中の後遺症で肩や肘の麻痺や筋肉のこわばり、関節の硬さがある患者さんを対象とした、上肢用ロボット型運動訓練装置です。麻痺のある肩や肘の回復、関節の可動域の改善が期待できます。



麻痺などの状態に合わせて
ロボットがアシストします。

入院のご相談は下記までご連絡ください

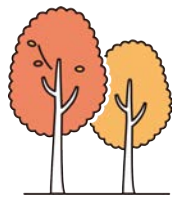
〒574-0012 大阪府大東市大字龍間1580
わかくさ竜間リハビリテーション病院
TEL：072-869-0116
FAX：072-869-0135
E-Mail：tatsuma@wakakoukai.or.jp



病院HP



リハ設備HP



認知

「リハまる」



複合現実



装着しているゴーグルのディスプレイを通して現実空間にバーチャルなCG画像が浮かびあがります。その3D画像に触れる、つまむ、見つめる、などの操作を通して、楽しみながら、注意力、記憶力、空間認知能力など認知機能のリハビリテーションができます。

運動

「カグラ」

認知



仮想現実

自身の身体が見えない状態で、手に持ったコントローラーをバーチャルリアリティー空間上の的に当てる動作を繰り返すことで、自身の身体の動かし方の記憶を無意識下で書き換えるリハビリテーション機器です。

ことば

「ビジピッチ」



発声発語分析

声や発音の特徴を、波形やグラフで表します。人の耳に頼った主観的評価だけではなく、客観的に評価することができ、視覚化することでわかりやすくなります。また、声の大きさや高さを調整する練習用のゲームもあり、楽しく発声訓練ができます。

嚥下

「ポスティム」



電気刺激

飲み込みに関する筋（舌骨上筋群や顔面筋群など）に電気刺激を流すことで筋の動きを促します。飲み込む力を強くする働きがあり、嚥下訓練とあわせて使用することで効果的な訓練ができます。

ADL

「浴室ユニット」



シミュレーター



床面のエレベーション機能や可動式の手すりなどがあり、浴室やトイレなど実際の環境に近い状況で日常生活動作の評価や訓練が行えます。住宅改修などを想定した手すりの検討などにも活用できます。

運転

「セーフティナビ」



シミュレーター

自動車運転再開を希望される患者さんの運転能力の評価や訓練用機器です。ハンドルやアクセル操作、反応の速さなどの検査や実際の交通状況に合わせた運転能力の評価・訓練を行うことが可能です。

医薬品と健康食品について

若草第一病院 薬剤部

トクホなどの健康維持のための補助食品が広告販売されています。

医薬品と扱いがどのように違うのかを紹介します。

＜医薬品＞

① 医薬用医薬品（処方薬）

病院や診療所などで医師が判断し、処方箋に基づき薬剤師が調剤して渡される薬。

② 要指導医薬品

薬局やドラッグストアで自ら選んで購入でき、必ず薬剤師から対面で指導や情報提供を受ける義務がある薬。インターネットで購入はできません。

③ 一般用医薬品

薬局やドラッグストアで自ら選んで購入できる薬。副作用や薬の飲み合わせなどのリスクの程度に応じて3グループに分類されています。

（1）第1類医薬品

特に注意を必要とする薬。薬剤師の情報提供が義務付けられています。

（2）第2類医薬品

注意を必要とする薬。薬剤師または登録販売者から購入可能・情報提供は努力義務。

（3）第3類医薬品

リスクの程度は比較的低く、購入者から直接希望がない限り情報提供の法的制限はありません。

＜保険機能食品＞

① 特定保健用食品（特保、トクホ）

健康の維持増進に役立つことが科学的根拠に基づいて認められ、「血中コレステロールなどを正常に保つことを助ける」、「おなかの調子を整える」などの表示が許可されている食品。国が審査を行い、食品ごとに消費者庁長官が許可します。

② 栄養機能食品

一日に必要な栄養成分を補給・補完できる食品です。

③ 機能性表示食品

事業者の責任で、人での安全性と効果の科学的根拠が明らかとなっている栄養素について、含有量が国の定めた基準を満たしていれば既定の栄養機能が表示できます。消費者庁長官へ届出されたもので、許可を受けたものではありません。最近健康被害で問題となっているのがこの機能性表示食品です。

健康食品の中には医薬品と飲み合わせが悪いものもあります。ご不明点は薬剤師等にご相談ください。



栄養と健康

わかさ竜間リハビリテーション病院 栄養課

糖尿病を改善する食事とは？



バランスよく食べる

主食・主菜・副菜をそろえて、朝・昼・夕、規則正しく食べましょう。

朝食を抜くと、次の食事で食後の血糖値が高くなりやすいので注意しましょう。



野菜は毎食十分にとり、野菜から先に食べる

野菜、海藻、キノコ類に多く含まれる食物繊維は、血糖値を安定させるのに役立ちます。そのため、野菜を先に食べ炭水化物を最後に食べることで、食後の血糖値の急上昇を抑えることができます。また、生野菜より加熱した野菜のほうが、十分な量をとることができます。

◎食べる順番

副菜



主菜



主食



食品選びのポイント

ごはん、パン、めん類などの糖質ばかりの組み合わせは、食後血糖値が上がりやすくなります。そのため、主食は一品にして、野菜や海藻・きのこなどがしっかりとれる副菜を組み合わせるようにしましょう。



食事量が多く、肥満ぎみの方は油脂が多いものは控えめに

魚類は、フライより刺身や焼き物を選びましょう。

肉類は、もも肉・ヒレ肉・胸肉などの脂身が少ない部位がおすすめです。

脂質を多く摂取して内臓脂肪が増えると、インスリンの働きを妨げて血糖値が下がりにくなります。

減塩も心がけて

糖尿病の方は、高血圧を招きやすいため、減塩を心がけましょう。普段の食事に少し工夫することで塩分を抑えることができます。

- だしや食材のうまみを生かす
- 酸味、香辛料などで味にアクセントをつける
- 漬物、塩蔵品、汁物の汁を減らす



わかくさ老人訪問看護ステーション 小阪サテライトのご紹介

- ・ 看護師7名体制(緩和ケア認定看護師1名を含む)
自宅や生活している場所で日常的な医療ケアを必要としている方は、
訪問診療や訪問看護の利用についてご相談してください。
- ・ 理学療法士1名(認定理学療法士:健康増進・参加領域)
痛みや呼吸器疾患への対応、生活上での改善を大事にしており、
継続できるリハビリテーションをお伝えしています。
- ・ 小児、精神、難病、終末期の看取りなど、幅広い訪問看護・リハビリテーションを実施しています。
- ・ 利用者さんとそのご家族の思いに寄り添った看護、リハビリテーションを心掛けています。



訪問看護のエピソード

病院や、地域のかかりつけの先生、ケアマネジャーから訪問看護のご依頼をいただくことが多いです。
今回、当ステーションのエピソードをご紹介します。

A氏との出会いは、ご主人が訪問看護を利用されていました。難病で、食事摂取が困難となり、お家で高カロリーの点滴や、シャワー浴介助を実施していました。「**最期までお家で過ごしたい**」との思いを支え、最期はお家で亡くなりました。あれから数年が経過し、A氏が病気で入院されていました。

そして、自宅に帰る際に当訪問看護ステーションを利用したいと希望され、再会となりました。A氏は長年介護され、やっと自分の時間を楽しめるようになってきた矢先に病気が発覚しました。関わりの中でご主人との思い出話に花が咲き、訪問看護の利用が、A氏とご主人の安心に繋がっていたことなど感謝の言葉をいただきました。A氏が病気になった時に、当ステーションの事を思い出し、希望していただけたことはとても光栄でした。

これからも喜んでいただける訪問看護ステーションでありたいと願っています。



わかくさ老人訪問看護ステーション 小阪サテライト

〒577-0807

住所: 東大阪市菱屋西3-1-3コアファースト301

電話: 06-6726-2727

営業日: 月～土 9:00～17:30

訪問範囲: 近鉄奈良線河内小阪駅を中心に訪問
(内環状線より東、八尾枚方線より西、
北は長田周辺、南は弥刀周辺)



新型コロナウイルスとインフルエンザのお話

わかくさ老人訪問看護ステーション
小阪サテライト 元木 則子

新型コロナウイルスとインフルエンザ

新型コロナウイルス感染症に関して、感染症法上、2類相当から5類感染症となりました。

今なお、罹患後症状がみられる方、重症化される方がおられます。大切な人々と自分自身を守るためにも、感染対策の基本を守っていきましょう。

また、秋から冬にかけて新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備えが必要です。

新型コロナとインフルエンザの違い

新型コロナ	インフルエンザ
	
咽頭痛 咳・発熱 筋肉痛	
	
臭、味覚の消失 呼吸困難 胸の痛み 圧迫感	
	
高熱 全身痛 (主に筋肉・関節) 悪寒・発汗 頭痛・鼻水	

※新型コロナウイルスの症状は徐々に現れることが多く、インフルエンザは急速に現れることが多いです。

point

1 基本的な感染対策

手洗い・アルコール手指消毒

外出先から帰宅した際や食事前には、しっかりと手を洗いましょう。(石鹸と水で30秒以上)

マスク着用・咳エチケット

特に人混みや密閉された場所ではマスクを装着し、咳の際は口と鼻を覆うようにしましょう。

換気

ウイルスの拡散を防ぐため、室内の空気を定期的に入れ替えましょう。

ワクチン接種

コロナワクチン、インフルエンザワクチン、
両方のワクチンを早めに接種することで、流行シーズンに備えましょう。



point

2 体調不良時の対応

- ・発熱、咳、倦怠感(身体のだるさ)などの症状がでた場合は、外出を控え、医療機関に相談することが重要です。
- ・自宅にコロナ抗原検査キットを備えておくと、迅速に感染の有無を確認できます。
- ・発熱時には、発熱外来を利用することが推奨されています。
- ・緊急時にはためらわずに救急車を呼びましょう。
- ・重症化リスクの高い方(高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦など)は、速やかに受診しましょう。



近所の「がん診療拠点病院」で、 安心の「早期治療」と「継続治療」を

－当院は2011年に大阪府から「がん診療拠点病院」の指定を受けました－

がん診療の大事なポイント



若草第一病院 院長 山中 英治

①早期発見

初期のがんほど完治しやすいです。近所の病院ならすぐに都合の良い時間に検査予約ができます。

②早期治療

がんと分かったら、早く治療をすべきです。当院では迅速な治療を行います。

③救急治療

病状によっては緊急に入院して処置をしないと命にかかわることも多いです。がんの手術をして退院した後や、抗がん剤の治療中に状態が悪くなることもあります。当院は24時間365日救急患者さんに対応していますので安心です。

④継続治療

がん治療は手術したら終了ということは少ないです。手術の後に後遺症が残ることや体力が低下することもあります。当院はいつでも対応できますのでご安心ください。

⑤緩和ケア・在宅医療

残念ながら、がんは治らないことや再発することがあります。当院では訪問看護や訪問診療の医師と連携して在宅医療を行っています。急変時の対応も安心です。

ぜひ、もしもの時も安心な地元のがん拠点病院で治療を受けられることをお勧めいたします。



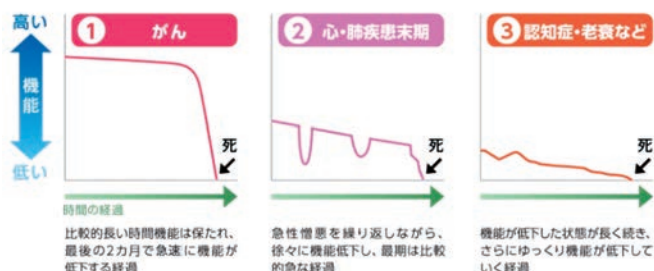
とは・・・

若草第一病院 看護部

緩和ケア認定看護師 山本直美

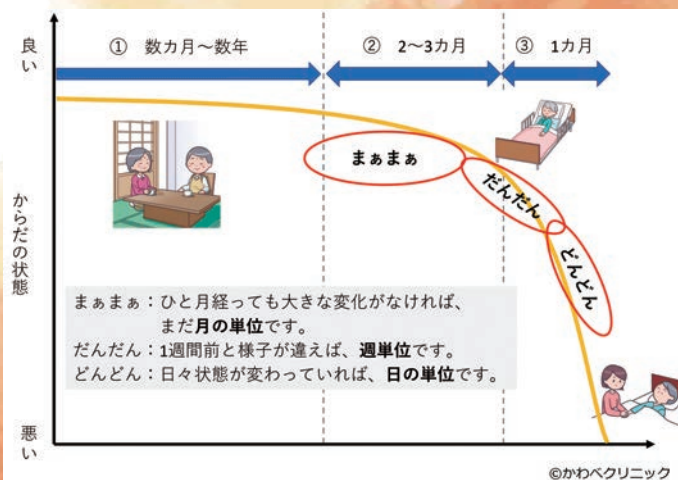
生命を脅かす病を抱えている方が直面するつらさを取り除き、患者家族にとって自分らしい生活を送れるようにするためのケアです。つらさは仕事のこと、生活のこと、お金のことも含みます。心と体はつながっています。少しでもつらさがあれば伝えましょう。

病の軌跡



時間には限りがあります。

人生の最終段階がいつ来るかはわかりません。自分の思いが伝えられるうちに伝え、少しでも長く準備期間が取れるうちに、もしもの時の「心つもり」をしておくことをお勧めします。「もしものことは縁起でもない」と思われると思いますが、縁起でもない話は、縁起でもない時しかできないのです。砂時計の時間になるまえに自分の思いを伝えましょう。



時間切迫・多重課題の場面に 対応できる看護師を目指して

わかくさ竜間リハビリテーション病院

副院長 西島 りつよ



8月に開催した、わかくさ竜間リハビリテーション病院の新人看護研修では、時間切迫・多重課題をテーマにグループワークをしました。看護師となって数カ月が経過し、患者さんにケアを提供する機会や担う業務が増えてきました。研修では、日常業務の中で起こり得る“あるある”の場面を想定し、写真で状況をイメージしながら、「対応すべき事項が同時に複数生じたらどうすべきか」を討論しました。

新人看護職員は、指導にあたる先輩看護師の助言を参考に考える視点を増やし、具体的な患者さんを思い描きながら活発な意見交換ができました。看護部では患者さんの安全を第一に考え、優先順位を意識して行動する看護師を育成していきます。

自己の強みに気づき、看護師の成長に期待

若草第一病院

新人教育担当 渡瀬 幸代

新人看護師が入職し早や半年が過ぎました。毎日の緊張の中で、不安を抱え迷いながらも奮闘し、安心して安全な看護の提供につとめています。今後、新人看護師がストレスや逆境に立ち向かっていけるよう「強み研修」を実施しました。この研修では、「VIA-IS診断」を用いて自己を分析し、認識した強みを意識的に周囲に伝えることで仕事の充実感が高まることを期待しています。

グループワークでは、互いの強みについて語り合い、「自分は強みと感じていなかったコミュニケーション能力が、この研修で強みとわかり、今後は積極的に患者さんに関わっていきたい」などの声が聞かれ、有意義な時間になりました。今後も様々な研修を通して新人看護師が成長していけるよう取り組んでいきます。

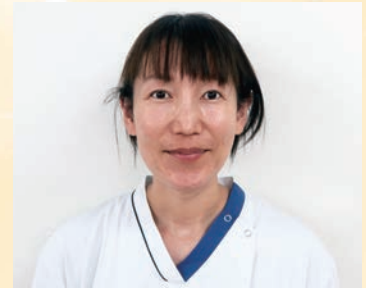


ナラティブ

～私の心に残る看護体験～

認知症患者さんとの 関わりから学んだこと

若草第一病院
南館5階 木下 直美



私が忘れられない患者さんは、直腸がんの肝転移と診断された認知症状のある95歳の男性の方です。その患者さんとの関わりの中でコミュニケーションで悩んだ場面についてご紹介します。患者さんは、認知症の影響からか処置の際にはいつも「何するねん!」「やめろ!」など大声で叫び暴られていました。私は、認知症の患者さんは、「暴れる」、「怒鳴る」という印象から、この時も怖くてあまり関わりたくないと思っていました。ある日、私が血糖測定に伺うといつもなら「やめろ!」「何するねん!」と怒鳴っていましたが、「今からアルコールで消毒します。冷たいですよ」と一つひとつの行動を説明し、協力的だったことに「ありがとうございます」と伝えると「こっちがありがとうや、ごめんな、情けないわ」と言われました。いつも暴れて怒鳴る患者さんが謝まれたことに驚き漠然と「怖い」と感じていた思いがなくなっていました。

これまでの関わりを振り返った時、私は、その方がどのような人なのかを考えず、

患者さんの気持ちではなく業務を優先してしまっていたことに気付かされました。それからは、積極的にコミュニケーションを図ることを意識し、患者さんに理解していただけるように、清拭時には「タオルでお身体を拭かせてもらってもいいですか」と行動を言葉で表現し、表情や目線の高さを意識しながら関わるようにしました。すると、患者さんの笑顔を見られる機会が増え、奥さんからは「夫は頑固ですが、基本的には優しい人です」と話されていたことから、関わり方で人は変わることに、気持ちに寄り添い患者さんのペースに合わせることで本来の優しい人柄で入院生活を送ることができるのだと学ぶことができました。

病気や治療、今後について不安を感じる患者さんは多いと思います。患者さんが思いを表出できるよう、患者さんのペースに合わせた関わりを意識し、その人らしい入院生活が送れるように思いに寄り添える看護を行っていきたいです。

これまでの看護経験の中で、今でも心に残っている
患者さんとの関わりはどのようなものだったのでしょうか……

訪問看護師にできること

わかくさ大東訪問看護ステーション
谷口 実希



若弘会に入職し、1年が経ちました。訪問看護は一人で訪問するため不安に感じることや悩むことも沢山あります。しかし、利用者さん一人ひとりに時間をかけて、継続して関わることができ、やりがいを感じています。

私の心に残っている利用者さんは、若年のがん終末期のAさんでした。Aさんは自宅で過ごすことを希望され病院を退院されました。本人に余命の宣告はされていない状況でした。がんによる苦痛もあり、訪問時には涙を流しながら「がんを治したい。生きたい」と話されました。どうすれば少しでもAさんが残りの人生を悔いなく過ごすことができるのかと悩みました。Aさんのような若い利用者さんは少ないため、ステーションの職員全員でAさんとの関わりについて考えました。訪問するたびに情報を共有し、カンファレンスも開催しました。そんな時にAさんは他の病院を受診し治らないということを初めて知りました。

「今までの人生は無駄だったのか。悔しい、やりたいこともいっぱいあるのに。つらい。もっと生きたい」と本心を吐露されました。

そんな状況で何と言葉を掛けたいのか、その時の私には難しく、Aさんの思いに共感し背中をさすりながらそばで寄り添うことしかできませんでした。ステーションに戻り先輩に相談すると、「それでよかったと思うよ」と言ってもらいました。私は「何か言葉で励まさないか」という思いが強かったのですが、そばで寄り添うことの大切さに改めて気づきました。訪問した際に思いを話してくれることもあり、少しでも気持ちが楽になっていればいいなと思います。しばらくしてAさんは家族に見守られながら永い眠りにつかれました。

Aさんとの関わりでは悩むことも多く、本当に良かったのかと今でも思います。Aさんとの関わりを通して身体面だけでなく、心のサポートも訪問看護師の役割としてとても重要であると思いました。日々の訪問でも悩むことはたくさんありますが、今の私にできることは何かを考え、少しでも利用者さんやそのご家族が安心して自宅で過ごせるように関わっていきたいと思います。

外来表のご案内

若草第一病院 外来担当医表

当院は病診連携のもと、紹介予約を基本としております。
急患につきましてはお電話にてお問い合わせください。

外来担当医表は都合により変更する場合がございますので必ずご確認のうえご来院ください。

午前診：9:00～12:00

午後診：完全予約制となっており、一部の診察を除き専門外来のみです。

●：紹介のみ、○：予約制

2024年10月1日現在

		月	火	水	木	金	土
		山口 哲央	清水 雅之	松田 達也	赤井 亮介	二宮 由佳	担当医
午前	内科	岡本 麻知子	霜野 良弘	白石 哲也	小谷 晃平	田中 康貴	
	消化器内科	岡田 章良	遠山 まどか 診察時間9:30～12:00	親泊 智英	岡田 章良	龍華 庸光	瀬川 哲也
	循環器内科	高柳 猛彦	●◎森 益規 診察時間9:30～12:00	竹田 征治	●◎担当医	●◎担当医	武田 徳弘
	呼吸器内科	棚野 吉弘	—	柏尾 誠	姜 成勲	小川 晃一	—
	血液内科	高桑 輝人 診察時間9:30～12:00	岡山 裕介 診察時間9:30～12:00	高桑 輝人 診察時間9:30～12:00	岡山 裕介 診察時間9:30～12:00	—	—
	小児科	吉村 彰友	吉村 彰友	吉村 彰友	吉村 彰友	吉村 彰友 診察日第2・3・5週	—
	脳卒中センター	熊谷 哲也	担当医	松井 雄一	堀井 亮	熊谷 哲也	担当医
	外科	中本 博之	山中 英治	池側 恭洋	●◎山中 英治 診察時間9:00～10:00	田村 地生	緩
	緩＝外科・緩和ケア	—	—	—	辻本 由美子 診察時間9:30～12:00	—	—
	整形外科	辻本 由美子	農野 啓正	—	◎原口 圭司	—	—
	人工関節センター	—	◎原口 圭司	—	◎今田 光一 診察時間9:30～11:30	—	—
	肩・スポーツ外来	—	—	—	—	—	—
	形成外科	担当医 診察時間9:30～12:00	—	西川 侑輝	—	—	—
	皮膚科	—	岡田 真央	—	—	—	—
	婦人科	—	小林 理章	—	小林 理章	—	—
	眼科	青松 圭一	福田 全克 診察時間9:00～11:30	青松 圭一	担当医 診察時間9:00～11:00	◎米田 廣美 診察時間9:00～11:00	—
	泌尿器科	林 知行 診察時間9:00～11:00	中川 雅之 診察時間9:00～11:30	林 知行 診察時間9:00～11:00 原田 二郎 診察日第1・3・5週	◎林 知行 診察時間9:00～11:00	—	三島 崇生 診察時間9:00～11:30
	耳鼻いんこう科	天野 かおり	天野 かおり	天野 かおり	—	天野 かおり	—
午後	神経内科	—	—	—	◎山口 哲央 診察時間14:00～16:00	—	—
	心血管外科	—	—	—	—	●◎長阪 重雄 診察時間13:30～16:00	—
	肩・スポーツ外来	◎今田 光一 診察時間13:00～15:30	—	—	—	—	—
	外科	—	—	北川 克彦 診察時間13:30～16:30 (受付時間13:30～16:00)	—	—	—
	形成外科	担当医	—	●◎西川 侑輝	—	—	—
	皮膚科	—	岡田 真央	—	—	—	—
	眼科	—	—	—	◎予約検査	—	—
	泌尿器科	◎予約診療・検査	—	◎予約診療・検査	室田 卓之 診察時間14:00～17:00 (受付時間14:00～16:30)	—	—
	セカンドオピニオン外来	◎完全予約制です ※月～金曜日で担当医と日程を調整し相談日程をご連絡いたします					

わかくさ竜間リハビリテーション病院 外来担当医表

2024年10月1日現在

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	内科	西尾 健資	杉口 茂	蘭田 智弘	紙谷 富夫	錦見 俊雄	—
午前 9:00～12:00	歯科	貴島 真佐子	貴島 真佐子	貴島 真佐子	貴島 真佐子	貴島 真佐子	—

わかこうかいクリニック 外来担当医表

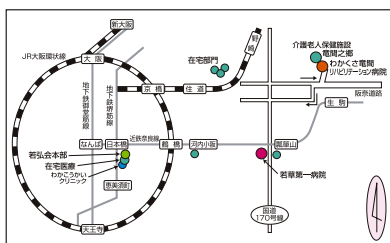
2024年10月1日現在

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	外来1診	城村 尚登	城村 尚登	城村 尚登	池岡 直子	城村 尚登	西口 修平
	外来2診	—	—	西口 修平	—	—	城村 尚登
午後 13:00～17:00	外来1診	城村 尚登	—	城村 尚登	城村 尚登	城村 尚登	—
午前 9:30～12:00	腹部エコー検査	池岡 直子	—	—	池岡 直子	—	康 典利(第2・第4)

社団の理念

最高の医療を提供し、
地域社会の健康と健やかな
人生に貢献します

当社団は、東大阪市を中心に
機能や特質の異なる施設を擁し、
急性期医療から在宅医療にいたる
医療ネットワークを展開しています。



広報誌 わかくさ 2024年 No. 128

発行：社会医療法人 若弘会
大阪市浪速区日本橋4-7-17

発行日：2024年10月15日

ホームページを開設しています。
<https://www.wakakoukai.or.jp>
e-mail: info@wakakoukai.or.jp



広報誌わかくさの表紙を飾るお写真や
コラム、またご意見、ご感想などがご
ざいましたら、お待ちしております。



メールアドレス
QRコード



社団ホームページ
QRコード